

本学女声合唱における指揮者考察

Considerations by the Conductor on the Female Chorus at Our Junior College

林 清 子

Kiyoko HAYASHI

I はじめに

音楽はまず声楽として始まり、歌う事で合唱和声をともなった多人数の集団的行為に至るまで、幾多の年月を経て発達してきた。声を合せて歌う楽しさは、集団の大小によらず、人間的文化の流れのなかで、最も簡単で、時代にかかわらず何時いかなる場所でも、すぐ出来得る気楽さから始まったものと考えられる。合唱の歴史をみると約5000年前から、人間の集団的行為とし、古代エジプトなどで早くから文明の発達した地域において、かなり程度の高い内容のものが、合唱されたと思われる。ユダヤ、ギリシャの古い音楽は、宗教的儀式の中で、全能者への賛歌として献げられたものである。この時代の記譜法は不明であるが、天文学者として有名な、ガリレイの父親により、1581年に発行されたものが、近代の音楽の紀元であるとされている。キリスト教の発展に伴い、教会の儀式の中では男声合唱のみで、高音部はボーイソプラノで歌われた。コーラスという語源も、ムジカ即ち詩歌と同様にギリシャ語から発している。斉唱から始まり、旋律とリズム、ポリフォニーやハーモニーが、加って多声的な合唱となった。

音楽の本質、音響性、倫理性から考察してみると、古代ギリシャの市民生活の中で、賛歌、勝利歌、舞踏歌、行列歌、結婚歌、弔歌などが歌われていたものと思われるものである。それらは混声合唱として、近代合唱音楽と発達し、労働歌としても数多く歌われた。又、子供達、女声のみ、男声だけの合唱も同様に至るところで盛んになって発達してきた。

筆者は長年声楽を学び合唱を経験し、その指揮及び伴奏を続けてきたが、幼児教育及び初等教育学科の女子教育者として、浅井学園、北海道女子短期大学女声合唱における指揮者として考察を述べ、その研究の一端を記録したい。北海道ドレスメーカー女声合唱団の歴史も書く。

II 社会において女声合唱の発達と普及

今日、北海道合唱連盟が結成されて35年になるが、加盟数は69団体（札幌合唱連盟'85年度）を数える。活動としては合唱講習会、合唱祭を毎年開催し続けている。戦後いち早く文化活動を始め、現在全国的にみて隆盛の一つにあげられるのが全日本合唱連盟の組織である。

戦前、戦中札幌市では、北大合唱団、札幌師範合唱団、庁立、市立、私立 女学校の合唱団、

一般では、札幌混声合唱団、各教会の聖歌隊があり各々活動をしていた。昭和17年に、札幌放送女声合唱団が設立され、筆者は「愛国の花」の課題曲を歌って合格し第1期生となった。

常任指揮者は、綿引夏先生（北星学園教師）と奥田良三氏が、時折来札して指導された。IK女声合唱で日本の歌曲、軍歌、同盟国のドイツやイタリア民謡を合唱し、月2度位IKスタジオ（中島公園内）から生放送をしたり、生産工場等の慰問活動を行ったものである。終戦と同時に合唱活動はいち早く復活した。当時その1例として浅井学園、北海道ドレスメーカー女学院の合唱団の歴史を取りあげて、その活動の発足から述べてみたい。昭和20年12月、千葉日出城氏の指導をうけ、22年マックネア劇場で発表会を催す。クラブ活動として、ファッションショーや合唱コンクール等に出演、39年11月、学園創立記念演奏会として第1回定期演奏会開催。

ご あ い さ つ

浅井学園北海道ドレスメーカー女学院長 浅井 淑子

学園創立25周年記念演奏会がここに、芸術の秋にふさわしく盛大に開催されますことを、心からうれしく存じております。

北海道ドレスメーカー女学院のいくつかのクラブ活動のうち、音楽部は誕生しましたのが最も古く、終戦間もない昭和20年のことでした。当時の社会情勢下の学院生活ですから、物質面の窮乏は昨今では想像もつかぬものでありましたが、私は、若い学生たちに豊かな精神生活へのひとつの指針が与えられる事を願いました。そのような折、私の幼少時からの経験を通して“共に歌うこと”の意義を認識しておりましたのが動機となり、学生たちにコーラスをすすめ、そして私も学生と共に歌ったのでございます。音楽を讃じ、共に歌うことによって明日への希望を確信し、生活の喜びを実感し、そして清純な乙女としての夢を胸いっぱい抱きつつ情操豊かな婦人が育成されることを願いました。

幸いにも結成当初には、この道の権威でいらっしゃる千葉日出城先生の薫陶を頂くことができ、爾今、駒ヶ嶺大三先生、林清子先生へと、代々のコンダクターの先生を通して、コーラスの習熟と共に、精神面の裏付けの陶冶をいただきまして、現在まですこやかな成長を遂げさせて頂きましたことを、厚くお礼申し上げる次第でございます。

同時に初期の部員から現在へと、代々の音楽部員が、結成時の精神にのっとり、服飾の研鑽のかたわら充実したクラブ活動を形成されてこられたその努力に、賞讃を送りたいと思います。

昨年度からは、北海道女子短期大学の開学と共に、同校学生の参加もみられ、両校の部員が共に練習に励んでおります姿や、各種の発表会などに参加しておりますことにふれますたびに、これこそ両校が姉妹校たる最も実的な表われとして、よろこびに絶えないものを覚えております。今後とも学園のファミリー・スピリットの顕著なる表われとして、両校部員共々の精励を願っております。

この度ご来会下さいました皆さまには、専門的にはさぞやお聞き苦しい点多くござい

しょうが、クラブ結成時の趣旨のよきご理解のうちに、音楽部員と共に過し下させていただきますようお願い申しあげ、ご挨拶に代えさせていただきます。

浅井学院創立25周年記念 北海道ドレスメーカー女学院合唱団第1回定期演奏会

とき 1964. 11. 16 (月) P M 6 : 00
 場所 札幌市民会館ホール
 出演 北海道ドレスメーカー女学院合唱団
 賛助 駒ヶ嶺大三, 札幌大学グリークラブ
 顧問 沢田幸子 常任指揮者 林 清子
 代表 松中靖子 団員49名 O G 24名

プログラム

- | | |
|--|--|
| <p>I Stabat Mater G. B. Pergolesi
 GALLIA C. Gounoh
 指揮 林 清子
 伴奏 大輪智恵子</p> | <p>IV 賛助出演 バリトン独唱駒ヶ嶺大三
 ピアノ伴奏 横谷 瑛司
 シューベルト歌曲集より
 Andie Musik Im Abendroth
 Alinde Die Forelle
 An Sylvia Erl König</p> |
| <p>II 組曲“こどもの歌”より 作曲清水 脩
 アイヌの男の子
 ひつじ飼いの子
 子 豚 三 匹
 オリオンの星 指揮 清水 艶子
 雪 の 夜 伴奏 大輪智恵子</p> | <p>V 卒業生と共に
 つれなき人
 天使のセレナーデ 指揮 村井由美子
 花のワルツ 伴奏 大輪智恵子</p> |
| <p>III 賛助出演 札学大グリークラブ
 四 国 民 謡 編曲 多田 武彦
 1 よさこい節
 2 金比羅船々
 3 お猪の子守歌 指揮 村上 洋二
 4 塩田小唄</p> | <p>VI 啄木によせて歌える 作曲越谷達之助
 1 初 恋 編曲 須田 潔
 2 別れきて
 3 柳青める
 4 流 木 指揮 林 清子
 5 入 日 影 伴奏 大輪智恵子
 6 夜 霧 編集 松井 将子
 7 雪あかり 朗読 ナレーター</p> |

北海道にゆかり深い「啄木歌集」より珠玉のような和歌に、越谷達之助が作曲した「独唱歌集」の中の7曲を、須田潔（IK所属）に編曲を依頼し、女声合唱とした。朗読を入れメドレーとして、合唱団の特徴あるものとして発表し、好評を得た。賛助出演に、学芸大学グリークラブと両先生の出演があり、創立25周年記念演奏会は、華やかに盛大に開催された。職員の先生、

表1 北海道ドレスメーカー女学院合唱団のあゆみ年譜

年・月	北海道ドレスメーカー女学院合唱団のあゆみ
昭和20年12月	音楽部誕生。指揮者 学芸大学教授 千葉日出城氏就任
♪ 21年	◎マックネア劇場（現松竹座）で発表会を催す。
♪ 25年～30年	毎年、同校ファッションショーの折、発表会を行う。
♪ 32年	札幌合唱連盟加入、合唱団と改める。
♪ 32年12月	“歳末助け合い合唱の夕べ” 連盟主催に出演 指揮者駒ヶ嶺大三氏就任
♪ 33年6月	札幌市民合唱祭初出演 於中央創成小学校体育館
♪ 33年10月	北海道合唱コンクール出場 於曙小学校体育館
♪ 34年12月	“歳末助け合い合唱の夕べ” 連盟主催 於札幌市民会館 常任指揮者 林 清子就任
♪ 35年3月	・札幌学芸大学グリークラブ第1回定期演奏会賛助出演
♪ 35年6月	北海道合唱連盟結成10周年記念合唱祭出演 於市民会館
♪ 36年1月	HBC TV 源平芸能合戦 トランジスターオペラ出演
♪ 36年3月	・札幌学芸大学グリークラブ 第2回定期演奏会賛助出演
♪ 36年12月	NHK TV 出演「Gallia」Gunod作曲 合唱・独唱
♪ 38年1月	・札幌学芸大学グリークラブ 第4回定期演奏会賛助出演
♪ 38年9月	全日本合唱連盟より大学部所属許可され、大学合唱連盟加入
♪ 38年11月	札幌市民合唱祭出演 於札幌市民会館
♪ 39年1月	・札幌学芸大学グリークラブ 第5回定期演奏会賛助出演
♪ 39年6月	北海道合唱祭出演 於札幌市民会館 大学合唱祭出演 於小樽市民会館
♪ 39年11月	◎浅井学園創立25周年記念演奏会 第1回北海道ドレスメーカー合唱団
♪ 39年12月	大学合唱祭出演
♪ 40年1月	・札幌学芸大学グリークラブ 第6回定期演奏会賛助出演
♪ 40年6月	札幌市民合唱祭出演 於札幌市民会館
♪ 40年7月	大学合唱祭出演 於札幌市民会館
♪ 40年11月	◎北海道ドレスメーカー合唱団 第2回定期演奏会 於札幌市民会館
♪ 40年12月	大学合唱祭出演 於岩見沢市
♪ 41年1月	・札幌学芸大学グリークラブ 第7回定期演奏会賛助出演
♪ 41年6月	札幌市民合唱祭出演
♪ 41年7月	◎神戸甲南大学グリークラブ、ドレスメーカー女学院合唱団札幌合同演奏会 道新ホール
♪ 41年11月	◎北海道ドレスメーカー女学院合唱団 第3回定期演奏会 於札幌市民会館
♪ 42年3月	◎神戸甲南大学グリークラブ 北海道ドレスメーカー女学院合唱団合同演奏会 於神戸国際会館
♪ 42年6月	札幌市民合唱祭 北海道大学合同合唱祭に出演（酪農大学）
♪ 42年7月	◎神戸甲南大学グリークラブ 北海道ドレスメーカー女学院合唱団合同演奏会（於札幌）
♪ 43年1月	◎北海道ドレスメーカー女学院合唱団 第4回定期演奏会 於札幌市民会館
♪ 43年6月	札幌市民合唱祭出演
♪ 43年11月	◎北海道ドレスメーカー女学院合唱団 第5回定期演奏会 於札幌市民会館
♪ 44年3月	◎室蘭製鉄合唱団 北海道ドレスメーカー女学院合唱団合同演奏会 於室蘭輪西会館
♪ 45年6月	札幌市民合唱祭 大学合唱連盟主催に出演
♪ 45年7月	◎神戸甲南大学グリークラブ 北海道ドレスメーカー女学院合唱団合同演奏会 於共済ホール

OGも参加して楽しいステージもあり、当時の女声合唱の先鞭をつけた発表となった。団員は日夜熱心に練習し精進し全曲暗譜して、清純な美しいハーモニーを創りあげて好演であった。発声練習を基礎に曲想表現に研究を重ね、プログラムにも考慮をし成果をあげた演奏会で以後毎年続けた。

北海道ドレスメーカー女学院合唱団第2回定期演奏会, 1965. 11. 15 (月) 札幌市民会館

I 宗教曲4曲 II 姉妹校紹介 北海道女子短大グリークラブ4曲 III 世界の子守歌集12曲 IV 賛助出演 札幌大グリークラブ6曲 V 卒業生と共に3曲 VI 歌集「若きウタリに」より7曲

当合唱団発足20年記念演奏会として、内容の充実したプログラムを考慮し、北海道先住民のバチラー八重子女史歌集「若きウタリに」から7曲を、須田潔（IK音楽デレクター）に依頼した。

合唱団構成として、松井将子朗読を入れ、北海道先住民族の哀感を合唱したものである。

1. 野の雄鹿牝鹿子鹿のはてまでも、おのが野原を追われるぞ憂き
2. 寄りつかむ島はいづこそ海原に、漂う舟に似たり我等は
3. 雪解する丘のおちこちけなげにも、黄なる花咲く春は浅きに
4. 砂原に赤く咲きたるハマナスの、花にも似たりウタリの娘
5. 波をみて大いなりとすな海を思い、大きく持たれウタリ心を
6. 石を割る木さえある世ぞウタリの子等、割りて進まん此の憂き世をば
7. 亡びゆき一人となるもウタリの子よ、こころ落さで生きて戦へ

北海道女子短大グリークラブ37名が初演し、芭蕉、ラ・セレナータ、理想、神の子羊を演奏した。

団長入江管子、指揮田中千恵、副指揮沢田千恵子、伴奏大輪智恵子、団員44名、OG 28名である。

北海道ドレスメーカー女学院合唱団第3回定期演奏会, 1966. 11. 24 (月), 札幌市民会館

合唱連盟に加入し渉外活動も盛んになり、他の大学合唱団との交流も活発に行うようになった。

I 宗教曲3曲 II 日本歌曲3曲 III 卒業生と共に4曲 IV 「詩人の恋」より8曲他献呈。 V シャンソン集7曲 VI 紀の国の歌「万葉集」より、信時潔作曲

1. 和歌の浦に 2. こせ山の 3. くるしくも 4. 三熊野の 5. あてすぎて 6. かぎはやの、以上6曲を演奏した。団員の人数の増加に、本格的な格調高い内容を取りあげ、イタリヤ歌曲、ドイツリードや、シャンソンも発表し、原語の発音指導に大黒マチルド女史を依頼した。伴奏者に松本京子（教育大、特音出身）を頼み、常任指揮林清子、顧問沢田幸子、団長飯田良子、指揮沢田千恵子、高木都子、団員46名、OG指揮清水艶子、伴奏田頭清子、OG 37名で盛大なものであった。

この年7月、神戸甲南大学グリークラブとジョイントコンサートを札幌市民会館で開催した。

翌年に北海道ドレスメーカー女学院合唱団が、初めて演奏旅行をして昭和42年3月10日、神戸国際会館大ホールで、甲南大学と合同演奏会を開催したのである。演奏曲目に特徴を持つものを考慮し、宗教曲 Ave Maria. Gallia. シューマン集より、詩人の恋、献呈と依頼作品「若きウタリに」を持参した。卒業前の旅行で道外演奏であったが、学園の配慮と先生達の同行OGも加わり、宝塚歌劇場隣りで合宿し、幼稚園のホールを借りて練習に熱意を燃やし懸命に精進した。当夜の合同演奏会は、パチラー八重子女史と親交のあった北海道出身の日本聖公会総裁主教八代師も来場され、音楽会の熱演に、音楽学校の演奏のようであったと賛辞があり団員に「聖歌と人生」著書50冊を贈られて一同感激した。東京より松井将子先生も参加されてナレーターとして出演され、顧問の沢田幸子先生、OGの先生達も加わって特筆すべき思い出深いものであった。団長他38名、指揮者林 清子、伴奏松本京子。この後甲南グリークラブは2度北海道に演奏旅行し親交を重ねたのである。

札幌合同演奏会の思い出

北海道ドレスメーカー女学院合唱団 “友情のハーモニー”

7月16日、日中の「野外作品批評会」に代わって、夕方6時30分からは、北海道ドレスメーカー女学院合唱団と神戸市甲南大学グリークラブとの合同演奏会が、潑刺たる若さいっぱい、市内道新ホールで開催される。前者は20余年の、そして後者は創立10余年を経た、いずれも個性ある伝統を有する合唱団の合同演奏のこととて、来会者は会場に満ちあふれ、片や清純な女声合唱の美しさに陶醉し、一方には力強くしかも繊明な男性合唱のハーモニーに魅せられた。

はるばると海をへだてた神戸市よりお迎えした甲南大学グリークラブは、クラブ活動開始以

写真1 北海道ドレスメーカー女学院合唱団・甲南大学グリークラブ
合同演奏会 神戸国際会館大ホール S42. 3. 10



来、学内での演奏活動をはじめとして、遠く各地の各団体との交歓演奏会を数多く開催し続けて来られたとのことで、それだけに今回の開催にみられた地理的な難点を超越しての企画、進行などの諸準備のたくみな点は、北海道ドレメの団員にとって学ぶことが多かった。

それと同時に一面には、開催までお互いに両者の存在すら認識しなかった団員同士が「歌う」ことによって、旧知の間柄のような親睦のうちに合同演奏会を開いたという事柄に、単なる演奏会の開催以上に“人の和の在り方”といった問題から大きな語りかけが提示されたことを、合唱団員ともどもに参会の方々にも受け取られるものが大きかった。

さかのぼって、今演奏会の発端において「札幌市の女声合唱団なら、北海道ドレメの合唱団を…」と、ご指名を下された北海道教育委員会当局のご好意や、現在にまで導かれた20年来の諸先輩の研賛のあとを銘記しなければならないであろう。

かくして、ようやく汗ばむ夏を覚える札幌の一夕は、若い学徒の友情のハーモニーに包まれて、感動のうちにふけて行った。

(41年7月 北海道ドレスメーカー女学院新聞より)

北海道ドレスメーカー女学院合唱団第4回定期演奏会, 1968. 1. 31 (水) 札幌市民会館

I 女人和歌連曲10曲 II 女声の詩による五つの歌 III Popular Music 6曲メドレー編曲 IV 賛助出演 OG 子守歌3曲, 子供の歌5曲 V 水に寄せて歌える5曲 IV 宗教曲5曲 F. Schubert.

女人和歌連曲は、信時潔氏が日本女子大学合唱団の為に作曲したもので遺作となったものである。

団長富田百合子, 指揮鶴田芙美子, 畠幸智子, OG 指揮沢田千恵子, 伴奏林美智子, 団員40名で OG は44名の多数が参加し, OG 単独の賛助出演のステージを持った。常任指揮林清子, 伴奏松本京子, 顧問平野法子であった。夏休みに小樽ニシン御殿で合宿をし自主的練習にきびしい訓練をし成果をあげたが, この第4回定演がピークで, 次第に団員が減少する傾向になった。

北海道ドレスメーカー女学院合唱団第5回定期演奏会, 1968. 11. 22 (木) 札幌市民会館

I 沙羅8曲 II 女声合唱曲集4曲 III 啄木に寄せて歌える6曲 OG と共に
IV カンツォーネ7曲 V 宗教曲 La Speranza GALLIA, 団員29, OG 35名合同, 団員数より OG の参加が多く, 第1回定演に歌った「啄木集」と、「GALLIA」を再演し, 後輩にこの作品と伝統を残したいと希望があり, 2つの合同演奏, ステージとなったのであった。時代の移り変りの流行で, この頃はポピュラーソングやフォークソングのような個人グループが盛んになり合唱団員が少人数となり, 学業と両立も難しくなった。新鮮なものにと心機一転を計り団長はじめ役員が必死の思いで募集をしたが, SP 7名, Mezzo 12名, Alto 10名で最も困難な状態であった。伴奏者に曾我部仁美(大谷音楽専攻科生), 団長作田真貴代, 指揮斉藤順子, 岡本真由美。

室蘭製鉄混声合唱団・北海道ドレスメーカー女学院合唱団合同演奏会，1969. 3. 11・輪西会館

室蘭に演奏旅行を行い，道内で初めて混声合唱団と共演した。OGも参加して出かけたのであるが折あしく雨降りですみ寒さ酷しく，スモッグのため多数の団員がのどを痛め，日頃創りあげた清純なハーモニーが発揮されず，よい出来映えとならなかったが「秋の女」混声合唱は合同演奏し勉強になった。

I マドリカル集 II カンツォーネ集 V 沙羅 の3ステージを上演したのである。

神戸甲南大学・北海道ドレスメーカー女学院合唱団合同演奏会，1970. 7. 18・札幌共済ホール

札幌市に甲南大学グリークラブが，3度来道合同演奏会を催し爽やかな初夏の夕べ，止ゆくまでに若人の歌声を熱演した。合同演奏にバイルフ作曲^{E x c e l s i o r}「より高く」を合唱し，男声2名女声2名のSoloを加えて，ピアノ伴奏の美しい旋律にのせて両団員は青春を謳歌したのである。

この年には大学紛争の騒ぎがあり，北大合唱団，教育大グリークラブや各大学に於いても合唱の活動が少なく，全日本合唱コンクール出場の大学も僅かで，合唱界も低調の時代となった。伝統のある北海道ドレスメーカー女学院合唱団も団員が少数となって，OGの方達の熱意ある助言や応援にもかかわらず，一致した共感をもって訓練しなければ，到達し得ない合唱団活動も次第におとろえた。ドレスメーカー女学院の学生達は優雅で素直なお嬢さん達が多く，長年合唱指導を行い，喜びや哀しみも合唱表現により心情深く味わい感性が豊かであった事が印象深い。どんな時でも笑顔をもって優雅に奥床しくふるまい，手製のラメ入りのロングドレスを着用した姿は花が咲いた様であった。数々の思い出をOGの方達と共に愛惜しながら，常任指揮者を10年間をもって筆者は辞任し，新たに姉妹校の女子短期大学に移籍したのである。

Ⅲ 本学合唱団の育成と訓練

昭和38年，北海道女子短期大学開学当時，一般教養の中に音楽講座が授業として，設置され筆者は毎週音楽を担当した。美術室にグランドピアノを置き，服飾と工芸美術の学生達に，合唱，鑑賞，音楽歴史等を講義した。クラブ活動として合唱団が誕生し，クラブ顧問に筒井京子先生になっていただいた。教材に「現代女声名曲集」を使用し，1965. 11. 15（月）北海道ドレスメーカー女学院合唱団，第2回定期演奏会の時に，姉妹校紹介として初演奏をしたのである。

指揮水落昌子，伴奏島山明美，代表沖野和子，SP 10名，Mezzo 13名，Alto 14名，計38名で演奏した。

Ⅱステージ 芭蕉，ラ・セレナータ，理想，神の子羊4曲，本学合唱団最初の活動で，女子短大の制服を着用し若々しい初舞台姿で好演であった。以来5年間訓練を重ね，団員も次第に増加したので1970年から自治会活動として定期演奏会を，毎年札幌市共済ホールで開催する。トコンサート等に参加した。昭和51年10月2日（土）わらび台小学校ミニコンサート出演。昭和53年11月1日，広島広葉中学校合唱祭アトラクション参加。

表2 北海道女子短大合唱団年譜・演奏曲目

年月日 曜	回数	Iステージ	IIステージ	IIIステージ	IVステージ	団員	指揮者	伴奏者
1970.2.21 土	1	大阪わらべ歌 5曲	小さな目より 6曲	伊勢物語 3曲	噴水のある風景 7曲	団長 小林るみ子 S,7 M11 A11 計29名	田村 啓子 中村 孝子	東江 里子 大銀 永子
'70.12.8 火	2	女声合唱曲 3曲	四国の子守歌 5曲	月曜日とわたし 5曲	水のいのち 5曲	団長 高野 優子 S,9 M7 A9 計25名	中村 孝子	永井 典子 中島高美江 高梨 晶子 泉 ひかり
'71.12.8 水	3	三つのわらべ歌 3曲	童謡曲集より 7曲	生活の歌 5曲	みえないものを 6曲	団長 野村 邦子 S,9 M9 A10 計28名	高梨 晶子 西森 紀子	村田かづみ 宮浦ひとみ 山崎 和恵
'72.12.8 金	4	日本民謡 5曲	おかあさん 5曲	遠い日から 3曲	心の四季 4曲	団長 宮浦ひとみ S,9 M7 A9 計25名	西森 紀子 林 こずえ	平野 誠子 山崎 和恵
'73.12.8 土	5	メンデルスゾーン 3曲	キャンパスの歌 5曲	OG賛助出演 OG 3曲	美しい訣れの朝 5曲	団長 長井寿美子 S,9 M7 A9 計25名	林ここずえ 泉谷由美子	中川志津子 大堀久美子
'74.12.7 土	6	大中悪女声曲集 8曲	組曲 沙羅 6曲	中田喜直小品集 4曲	愛の風船 6曲 V北の詩 4曲	団長 越後多嘉子 S,8 M7 A9 計24名	林 清子 泉谷由美子 山川まゆみ	久守 恵子 中川志津子 三浦 淳子
'75.12.13 土	7	五つの小さな歌	シューベルト集 3曲	幻想 4曲	火の国水の国 ナレーター 佐藤 正司	団長 東沢 春美 S,10 M12 A15 計37名	林 清子 山川まゆみ 山本 曲子	村上 智子 三浦 淳子 田高 詠子
'76.12.4 土	8	組曲 チヨたん 7曲	メンデルスゾーン 3曲	葡萄の歌 5曲	水のいのち 5曲	団長 安田 博子 S,9 M9 A9 計27名	林 清子 山本 典子 橋場久美子	中川原圭美 田高 詠子
'77.12.10 土	9	生活の歌 5曲	子供の歌 5曲	合唱への招待 3曲	終りのない歌 6曲	団長 石山久智美 S,9 M9 A9 計27名	林 清子 橋場久美子 大塚由美子	中川原圭美 河内恵理子 宗像 信恵
'78.12.2 土	10	キャンパスの歌 5曲	愛唱歌集 5曲	OGと共に 風花の舞 3曲	組曲 愛の河 3曲	団長 佐竹 幸恵 S,10 M11 A10 計31名	林 清子 大塚由美子 山川まゆみ	中川原圭美 秋元 玲子 三本 葉子
'79.11.30 金	11	宗教曲 5曲	女性の詩による 五つの歌	北国の詩 4曲	船にのる日が近づいて 4曲	団長 及川 妙子 S,12 M18 A9 計39名	長沢美恵子 金森理恵子 山川まゆみ	秋元 玲子 高橋 美紀 吉川みさ子 田所 清美
'79.11.12 月 藤女子大学講堂	第1回 女声合唱 の夕べ	葡萄の歌 5曲 26名 藤女子大合唱団	海のオルゴール 3曲 33名 天使女子短大 藤女子大合唱団	女性の詩による 五つの歌 39名 北海道女子短大 合唱団	白い木馬より 2曲 65名 大谷短大輪声会	心の四季より 5曲 71名 静修短大合唱団	九州民謡によるコンボジ ション2曲 上之先生指揮 五短期大学合同合唱団	

北海道女子短大合唱団の毎年の活動は、4月新入生歓迎会に始まり、新入団員募集し年間の計画をたてる。団長、指揮者、各パート・リーダー、役員等を決め3パート人数を決める。

合唱団の定演も回を重ねるたびに、自主的運営もよくなり、人数も第6回定演までは30名足らずの小団体であったが、第7回定演には37名となってようやく音色も和音も良くなって充実した演奏会になった。合唱界も一時の低迷時を過ぎようやく活発な活動がみられ黄金時代となり、再び隆盛期を迎えた。この第7回定演には、それまで邦人作品が多く演奏されたが、ドイツリードや組曲の様なものも取りくみ、特に「火の国、水の国」はナレーターに男声の佐藤正司の熱演を加えて立派な出来映えとなった。昭和50年度卒業生で伴奏者として活躍した久守恵

表3 1年間のあゆみ

年・月	あゆみ	年・月	あゆみ
1977年1月	酪農学園合唱団との新年コンパ	1979年2月	追い出しコンパ オベレッタ参加
2月	追い出しコンパ オベレッタ参加	3月	卒業式典合唱参加
3月	卒業式典合唱参加	4月	入学式典合唱出演 新団員募集
4月	入学式典合唱参加	5月	大学祭合唱連盟合同ピクニック参加
5月	大学合唱連盟ピクニック 新入生部員歓迎コンパ	6月	新入生歓迎会 春の合宿
6月	春の合唱 札幌市民合唱祭出演	7月	札幌市民合唱祭参加
10月	酪農学園とジョイントコンサート (江別市民会館に於て) 大学祭 喫茶「むすび」開店	9月	秋の合宿
11月	江別市民会館文化祭参加 強化練習 強化合宿	10月	浅井学園40周年記念式典参加 大学祭 喫茶「むすび」開店
12月	第9回定期演奏会	11月	江別市民文化祭参加 女声合唱の夕べ参加 強化練習 強化合宿
			第11回定期演奏会

子先生から話があり、昭和51年10月2日(土)に、わらび台小学校に於てミニ・コンサートに出演した。一例として模様を記すことにする。団長安田博子、団指揮山本典子、伴奏田高詠子。

期 日 昭和51年10月2日(土) 場所 わらび台小学校体育館(当別町)

対 象 わらび台小学校(53名) 川下小学校(43名) 高丘小学校(19名) 金沢小学校(19名)

時 間 10:30~12:00 引率教育者人数(20名) 父兄参加(30名) 合計184名

ねらい 1. 合唱団の校外活動による成長 2. 身近な曲に親しみ味わいを深く掘り下げる。 3. 子供の歌、小学生の教材を勉強する。 4. 合唱の楽しみ、音楽の喜びを小学生と共にする。

小学校側へ

1. 日頃親しまれている曲に一層の興味と関心をもって頂きたい。
2. 簡単な合唱曲を通して合唱のもつハーモニーの美しさを味わう。
3. 歌唱の楽しさを、合唱、輪唱曲などを通して共に感じる。

主催 北海道女子短期大学合唱団(33名) SP 9名, Mezzo 15名, Alto 9名。

団長 安田博子 司会 長谷川優美, 引率 筒井京子, 林 清子。

I Stage 歌の花園 平井康三郎構成編曲

1. 春が来た
2. 植生の宿
3. のぼら
4. 子馬
5. かえるの歌
6. スワニー河
7. 橋の上で
8. 木曾節
9. 汽車ポップ
10. ミカンの花の咲く丘
11. 小さい秋みつけた

II Stage 1. アルプスの少女ハイジ 2. 巨人の星 3. 森のくまさん 4. ウンパッパ

エール交換 各小学生と合唱団(大変元気よく歌ってくれて感激した)

III Stage チコタン 蓬萊泰三作詞 南 安雄作曲

1. なんでかな? 2. プロポーズ 3. だれや!? 4. 空がこんなに青いと
は 5. さあ太陽を呼んでこい

アンコール曲 赤とんぼ 今日の日はさようなら

。 アルプスの少女ハイジにお面使用, 森のくまさん手振りを入れる。歌詞を書いて全員と共に。

◎ 服装 I 白黒, ロングスカートとブラウス, パンプス II Tシャツ, Gパン III 自由服装, 上着スカート。

アナリーゼ 歌の花園 司会者

私達が最初に歌う, この曲は合唱連曲と言って, たくさんの歌曲が休みなく次々と歌われるもの。春が来たから始まって, 植生の宿, のぼら, 小鳥, かえるの歌, スワニー河, 橋の上での7曲から出来ています。皆さんも知っている曲が, たくさん入っていると思います。春が来たは楽しく明るい曲です。植生の宿は家庭の楽しさを歌った曲ですから平和で和やかな感じがします。のぼらは少年が野に咲くばらを見つけて, とても喜んでいる歌です。子馬は歯切れよく, きびきびした曲で, 母親の馬と子馬の歩いている姿を思い出して下さい。かえるの歌は簡単な歌の追いかけあいが楽しい輪唱となり, 和音ハーモニーが出来ます。スワニー河は静かな河の流れる風景が浮かんでくる美しいメロディの曲です。橋の上ではフランスのアヴィニオンという場所の橋を, いろいろな人達が通っていく様子を歌にした童話で, どの歌も, いつまでも多くの人達に親しまれている曲ですから, 皆さんも知っている歌があったら一緒に歌ってください。

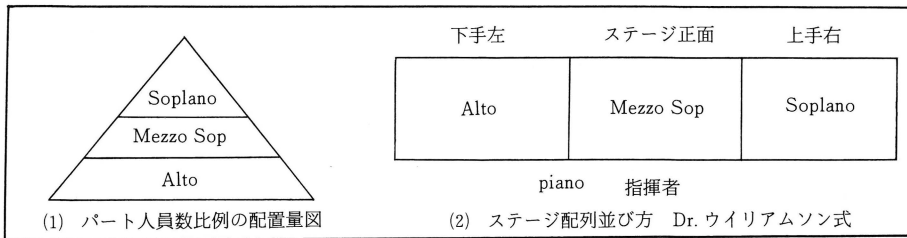
会場の小学生達は, 海上教頭先生のたくみなご指導で全員よく聞いて楽しんでくれた事は合唱団としてもとても大きな喜びであった。ピアノ伴奏, ショパンのワルツを加藤さんが客演した。後日小学生より感想の文集が送られてきて, 団員一同感激して喜こんだものであった。エール交換は小人数の学校も, 多数の学校も大きな声で立派に歌って大変よい演奏出来映えであった。

◎ 第10回定期演奏会は, 合唱団誕生15周年として, 特に熱演した。湯山昭作曲「愛の河」組曲をテーマとして研究発表した。本道在住和田徹三作詩のもので青春のドラマを創作したもので, 石狩湾の砂浜で, ハマナスの香りの満ちた大自然の中で確かめ合った愛情がみえる。「相聞」, そして「華燭」, 「祝婚歌」と高められた人間像を歌い上げた, 見事な作品である。

◎ 第11回定期演奏会は, 「Stabat Mater」, ベルゴレージ作品の宗教曲を初めて取り上げて発表し, 「北国の詩」組曲はOGの客演指揮者山川まゆみ, 伴奏吉川みさ子であった。

昭和44年, 北海道女子短期大学に, 初等教育学科が新設されてから, 音楽授業内容も強化され, 1970年には, 声楽, 器楽, ソルフェージュ, 指揮法, 鑑賞法, 小学校教材研究, 保育内容音楽リズムも開講されて, 学生の本格的な音楽的資質もいちじるしく向上した。クラブ活動の合唱団に於ても団長, 指揮者, 伴奏者, パートリーダーの力量がついて, その訓練も円滑に運営されるようになる。

図1 特徴のある配置図



高音パートは人数も音量も、比較的小さくし音色を軽く美しく響かせる。頭声発声を訓練する。中音パートはやや人数音量も大きくよく共鳴を入れた、音程正しい中声発声を訓練する。低音パートはしっかりと胸声の響きを出し、全体をささえ安定したまろやかな温かい音質を創る。人数が集まり各パートに分けて発声訓練するが、持ち前の個性を如何に訓練するか？先ず呼吸法を完全にマスターし、姿勢をよくし母音A E I O Uの五音を発声してみると10人10色の声を出すので、その統一をし、まろやかに明るく息がよくまじった響きのある大人の声に創り上げてゆく発声法を訓練し和音がよく共鳴し調和するまで練習を重ねる。その作業は細心の注意と聴覚の訓練を要する。口腔内の広さを利用して共鳴体として、美しく響かせる方法、横隔膜を使って深い所からのスタカット発声し、次にレガート唱法を勉強し、魅力ある女性の声を創り上げた上で歌曲に入る。肩の力を抜いて上半身を楽な姿勢にして、柔軟な歌い方、音階発声音程等の訓練を重ねるのである。

やがて各パートがバランスよくチューニングする様になって、一つの段階が終り、合唱団に相応しい選曲をして暗譜するまで、音程、リズム、強弱、フレーズ、歌詩、曲想と創り上げてゆく忍耐を要するものである。北海道女子短大合唱団も、最初の3ヶ月は17年間、その繰返しであった。合宿をしたり、強化訓練を行って定期演奏会を迎えるが、終るとそれらの積重ねは崩壊し、又新入生を迎えて基礎作りから始まる。しかし伝統は先輩から後輩へと引継がれ、その流れは絶ゆる事なく続いている。合唱による人間形成を確信し、格調高い曲想、歌詩から得る心情は、人生にとって大きな幸福となるものである。

短い学窓生活の裡でこの喜びを得る事の出来た学生達は、社会に出てからも各地の合唱団に入り合唱活動をしている現在、音楽会、演奏会の招待を受ける時、指導をした筆者は大きな喜びである。

研究主題をもって、その目標にむかって精進を重ねることは筆舌には盡し得ないものであるが、苦労が大きければ、喜びも更に倍加するものである。感性豊かに自身の中にも音楽がある事を知り、生命力溢れた演奏が出来るよう努力することこそ生きる喜びと言えよう。芸術は全身全霊を傾けて得られる境地である。多人数で創り上げる合唱音楽は、困難な時もあるが、それだけスケールの大きい内容深いものである。全曲を完全にマスターするには多くの練習回数を必要とする。パートは隔日、全体の練習は週2度～3度、60分～90分位訓練し、仕上るま

で12回～15回日程を要する。定期演奏会には4ステージ20曲～25曲位で、その積重ねは非常に綿密な計画が必要で、団員の一致した共感が大切である。

1979年10月15日、浅井学園創立40周年記念式典が、札幌厚生年金会館大ホールに於て開催された。北海道ドレスメーカー学院生80名、北海道女子短期大学初等教育学科生と合唱団員80名が、両校の校歌を合唱した。創立者浅井淑子園長は、特別晴れやかに感激をもって所感を述べられた。

学園の発展を祝して両校の学生達は溢れる若々しい歌声で校歌を合唱したのである。長年共に歌って指揮をした筆者にとっても感銘深い思い出となった。

北海道ドレスメーカー学院校歌 女声三部合唱

作詩 老久保 小夜子

作曲 千葉 日出城

1. 姿やさしきアカシヤの 香りはぐくみて育ちきし
乙女心のやさしさは 吾が学舎のしるしなれ
2. あした夕べの子守歌 鐘の音やさし時計台
月に語り 陽にうたう 乙女学びのすがたなれ
3. 真白き花のアカシヤの 夢みる香り胸にせば
卒業しはらから微笑て 変らぬ学舎栄あれ

北海道女子短期大学校歌 女声三部合唱

作詩 河 邨 文一郎

作曲 大塚 夏生

1. 花はまどろみ 風はささやき 明けゆく朝は
日々に新し 見晴台にこぞり立つ 輝く雲に太陽に
われらの歌よ 遠く行け
2. すさぶ吹雪の 薫る若葉の 燃え立つ夏の
季節も森を あふれて空にそそぎ入る
石狩川の河音に われらの力 あふれ行け
3. きよきおとめの幸をあつめて、未来にひらく
学び舎ここに 和を尊びて ひとすじに
手に手をつなぎ はぐくみし
われらの夢よ 地に満てよ

写真2 第11回定期演奏会 北海道女子短期大学合唱団, 1979. 11. 30 道新ホール



発足以来10年間続いた北海道女子短大合唱団は、1980年に初等教育学科が、江別市民会館に於て第1回音楽会を開催する機運になり、団長、役員がオペレッタの主役とし活躍した為、第12回定演を中止する。

IV 本学初等教育学科音楽コース合唱団の現状

写真3 北海道女子短期大学初等教育学科 第5回音楽会 S59. 10. 27

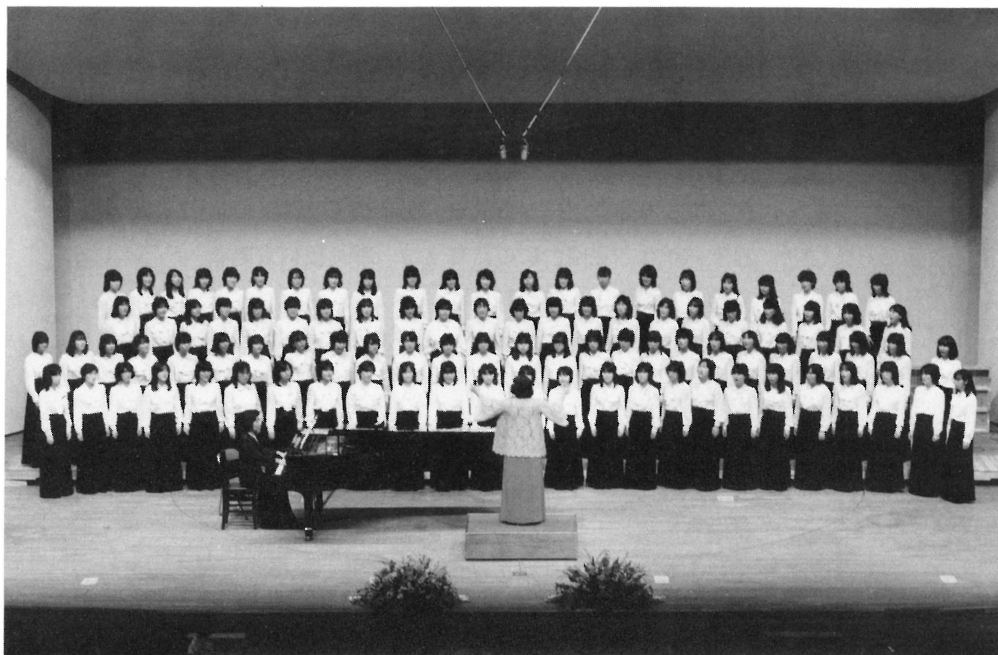


表4 北海道女子短期大学初等教育学科音楽専攻コース合唱団1・2年生

年月日 曜	音楽会 <small>江別市民会館 大ホール</small>	演奏曲目 内容	指揮者	伴奏者
1980. 11. 15(土)	第1回音楽会	校歌 河邨文一郎作曲 大塚 夏生作曲・編曲 Excelcior! ベイル作曲 西崎嘉太郎作詞 歌の花園・春が来た・殖生の宿・野 ばら・子馬・かえるの歌・スワニー 河・アビニヨンの橋の上で	林 清子 中田 睦子 (専攻科生)	桑原 雅子 岡崎 明美
1981. 11. 14(土)	第2回音楽会	校歌 器楽合奏と共に 女声合唱 相浦 清子作詞 泉 高田 三郎作曲	加藤 愷三 林 清子	桑原 雅子 古屋 典子
1982. 10. 29(土)	第3回音楽会	校歌 1・2年生全員音楽コース 葡萄の歌 関根 栄一作詞 湯山 昭作曲 女声合唱とピアノの為の組曲 月にはなしかける林にて	林 清子 林 清子	桑原 雅子 田中 牧子
1983. 10. 22(土)	創立20周年記念 第4回音楽会	校歌 音楽専攻コース1・2年 女声合唱 こどもの歌 片岡 政子作詞 清水 脩作曲 アイヌの男の子・ひつじ飼いの子・ 仔豚三匹・オリオン星・雪の夜	林 清子 林 清子 堀沢 妙子	桑原 雅子 武市 雅子 (初1年生) みんなの歌 田村 恵 村松 里美
1984. 10. 27(土)	第5回音楽会	校歌 音楽専攻コース1・2年 「月曜日とわたし」より 詞中村千栄子他作 湯山 昭作曲 月曜日とわたし・十月のプロムナード・ 青い流れの歌	林 清子 林 清子	桑原 雅子 山田 元子 太田 千春
1985. 10. 26(土)	第6回音楽会	校歌 音楽専攻コース1・2年 「月曜日とわたし」より 江間 章子作詞 湯山 昭作曲 小鳥よどこ・小さなバラード・あなたに 逢うとき	林 清子 林 清子	桑原 雅子 西岡 佳苗

初等教育学科は音楽コース，体育コース，3コースにわけられて学科の特徴がある教課が展開されているが，音楽コースは右記（表5）の様なカリキュラムで勉学をしている。

音楽コースとして器楽Ⅰ，Ⅱと音楽Ⅰ，Ⅱと総合的に内容を集合したものに，個人レッスンとしてピアノを研修し進度の高いものには2年目の音楽器楽Ⅱ合奏を催すようになった。これには加藤愷三教授の特別訓練により，貴重な合奏を経験させることが目的である。合唱に於ても，音楽Ⅰ，ⅡでConconeを基本的に学び，女声合唱を取り上げて1年2年音楽コース全員で，合唱を行っている。その他，小学校教材研究では小学校唱歌共通教材の斉唱重唱輪唱等も学んでいる。幼児のうたは，幼児音楽教育法と保育の四季，幼児の歌110曲集等によって研究をしている。

合唱は約100名全員参加で，音楽会のⅠステージで，毎年発表する伝統を創っている。全員の声を合わせて共通の詩歌を喜びをもって，歌いあげ女声の清純な和音を追求し，高い芸術性

表5 初等教育学科音楽専門科目音楽コースカリキュラム

年度	科目	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	単位数	90分時間数	担当教官氏名
1970	ソルフェージュ	①	1			① 1	24	林 清子
	声 楽			1	1	2	24	林 清子
	器 楽	①	①	①	①	② ②	24	林 他3名非常勤
	指 揮 法			1		1	12	林 清子
	鑑 賞 法				1	1	12	谷本 一之
	教材研究 小学校			②		②	12	林 清子
	保育内容				2	2	12	林 清子
1974	音楽通論			1		1	12	小野 進
	音楽リズム				1	1	12	小野 進
1975	音楽Ⅰ	1	1			2	24	桑原 雅子・西川みち子
	音楽Ⅱ			1	1	2	24	林 清子
	器 楽 Ⅰ	①	①			②	24	林 清子・桑原 雅子(西川みち子) 中川原圭美・釜石 正子・釜石 公子 5名
1984	器 楽 Ⅱ			1	1	2	24	上記に同じ
1985	音楽Ⅰ	①	①			②	24	桑原 雅子・駒ヶ嶺大三
	音楽Ⅱ			①	①	②	24	林 清子
	器 楽 Ⅰ	①	①			②	24	林 清子・桑原 雅子・町田 美穂 中川原圭美・関谷 正子・砂田真理子 加藤 愷三・星 義雄
	器 楽 Ⅱ			①	①	②	24	上記に同じ
	教材研究			①		①	12	加藤 愷三・駒ヶ嶺大三
(’83)	児童演劇研究		1	1		2	24	本山 節弥・武内 昭二・林 清子
(’85)	保育研究			1	1	2	24	晴山紫恵子
	音楽リズム							

を目ざして訓練を行っているのである。プログラムビルディングに当って、格調の高い、音楽性豊かなもの、子供達に喜んで聞いてもらえるもの、学生達の心情に訴えるものを選ぶ。

V お わ り に

さて、合唱界に於て指揮者として長い遙かな歩みを記述してきたが、音楽芸術の音楽分野は、理論的にまことにとらえ難いものであり、演奏発表を通して、万人の聴覚に伝達する音響により精神に働かせるものであり、人声を素材とした、人間にのみ与えられた生命の躍動であり、情熱の歓喜である心情から魂へ感動が伝わるべき極のない情緒の世界である。

全日本合唱連盟の記事によれば、我が国の合唱人口は、連盟加入一般会員20万、女声合唱お母さんコーラス会員80万人と言われる。各小、中、高、大学まで、学校教育の場では無数の合唱団が存在するものと推察する。今後は益々隆盛し増加する「平和を愛好する団体」として成長するであろう。

豊かな人生を創り、感性を磨く生涯教育の大衆音楽として発展し続けてゆくと思われる。

本学初等教育学科に於ても、教育的音楽概念と楽曲教材を適切に選択して、授業に展開させて教育者としての学生達の実力を養い、声楽の訓練によって真髓を探求してゆきたいものである。

聴覚、知覚、想像力、創作力を高め総合的に音楽づくりをする作業は、大理石や宝石を研磨する過程にも似ている。古今の名曲から、現代の邦人作品に至るまで、数多くの合唱曲があり、その中から詩歌の内容の格調高いもの、施律の素晴らしい音楽性豊かな作品を選択し教材として取りあげ共感をもって曲想を創りあげたいと苦心する。困難が多ければ習得を重ねて練習し、課題にむかって挑戦する。発声訓練から始め、歌声を磨き和音をつくり、曲想をねり感情が移入出来るまで、指揮者は努力し結果を掌握する。演奏にはピアノ伴奏も重要な役割をもつもので、伴奏者の音色の美しさ、技術リズムや音楽性が必要であり、女声合唱の大切な支柱となるものである。三位一体となって真の演奏が出来る。合唱団員全体の共感によって創り上げてゆく共同作業なので、和の精神が基本となる。

北海道合唱連盟支部長である瀬川良弘先生のご紹介で、北海道ドレスメーカー女学院合唱団常任指揮者となり、故浅井淑子学園長から委託された合唱音楽による女子教育を続けて今日まで経た年月……地域社会との交流の場として、雪柳会やせせらぎ会も合唱指揮をして30年近い歳月が過ぎ去った。

毎年10月下旬、江別市民会館大ホールで、初等教育学科主催の音楽会を開催しているが、何時も幕明けの第Ⅰステージで校歌を歌い、続いて音楽コース1・2年生全員による合同合唱を行っている。(米)ウエストミンスター・クワイヤー・スクール創設者、故ジョン・エフ・ウィリアムソン博士に「何を如何になすべきか？」とあたえられた言葉の重みが、筆者自身の裡に使命感として残されている。たくさんの恩師達より受けたものを、如何に愛する学生達や、幼児たち、高年齢の方達に伝達すべきか？筆者は其はてしない道程を今後もいのちの限り歩み続けたいと願っているものである。

(1985・5・30)